

イーグルバスが県内初受賞

コスト削減、顧客満足度で成果



第2回の受賞企業。イーグルバスの谷島社長（前列左）らが表彰を受けた

イーグルバスは、バス一客密度の高い区間を把握し、「GPS」と「赤外線」のセンサーを基に「乗降センサー」を設置し、「効率的な運行ダイヤを組む」として、コスト削減と

サービス産業生産性協議会（代表幹事・牛尾清朗ウシオ電機会長）は、創設と工夫でイノベーションを生産性向上を果たしているサービス産業の企業を表彰する「サービス日本300選」の第二回受賞企業を発表した。全国二十七社のうち、県内で初めて旅客自動車運送業のイーグルバス（川越市、谷島賢社長）が選ばれた。

（三宅芳樹）

ハイ・サービス日本300選

顧客満足向上の双方を達成した。選定に当たっては六つの評価項目のうち、「科学的・工学的アプローチ」の分野で表彰を受けた。

谷島社長は「品質第一を掲げて取り組んで来たことが評価され、社員一同喜んでいる。これを機に一層努力していきたい」と話している。

サービス産業生産性協議会は、サービス産業のイノベーションや生産性向上を図ることを目的に、産業界や行政、大学関係者などの参加のもと、〇七年五月に設立した。

ハイ・サービス日本300選は協議会活動の一環で、関係機関から推薦のあった企業の中から、他の模範となる企業を委員会で選定。今後二年間で、

今年度の選定企業四十八社を含めた三自社の取り組みを表彰していく。他県の第二回受賞企業では、「地域貢献」の分野で中古車販売のガリバーインターナショナル（東京都）などが選ばれた。

北海道日本ハムファイターズ（北海道）、サービスプロセスの分野で